



パ・リーグ6球団感動の輪を広げようプロジェクト

球場にファンをご招待！小学生に非日常体験をプレゼント！

キャンペーン第4弾として、京セラドーム大阪にご招待

パシフィックリーグマーケティング株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役CEO：根岸 友喜）は、一般社団法人 日本MA-T工業会（本社：東京都千代田区、代表理事：川端 克宜）と共同で実施している「パ・リーグ6球団感動の輪を広げようプロジェクト」の一環として、観戦チケットプレゼントキャンペーンの第4弾を実施することをご案内いたします。



新型コロナウイルス感染症の影響から思うように球場で観戦することができなかったファンの皆様に対して、改めて球場での野球観戦の楽しさを知っていただきたく、「パ・リーグ6球団感動の輪を広げようプロジェクト」では観戦チケットのプレゼントキャンペーンを実施しています。

本キャンペーンではこれまでに、5月3日(火/祝)札幌ドームでの試合および5月7日(土),8日(日)ZOZOマリンスタジアム、6月19日(日)ベルーナドームでの試合の観戦チケットを計330名の方にプレゼントし、球場へ招待してきました。（第3弾は7月17日(日),18日(月/祝)楽天生命パーク、8月12日(金)福岡PayPayドームでの観戦チケットを計200名の方にプレゼント予定）今回、キャンペーン第4弾として8月28日(日)に京セラドーム大阪で『A2Care MA-T感動の輪を広げようデー』として開催されるオリックス VS 埼玉西武戦の観戦チケットをプレゼントいたします。多くのみなさまからのご応募をお待ちしています。

チケットプレゼントキャンペーン第4弾概要

- ・対象試合：2022年8月28日(日)京セラドーム大阪（オリックス・バファローズ vs 埼玉西武ライオンズ戦）
- ・応募期間：2022年7月31日(日)23:59まで
- ・当選者：特設サイトに出題したクイズに正解の方から抽選で、

①40組80名様に試合観戦チケット（A指定席）

②9組18名様に体験付き試合観戦チケット（A指定席）

※②の応募資格はエッセンシャルワーカーの方とご家族、体験（スタメンキッズ）は小学生限定

特設サイト：<https://sp-en-project.com/event/pl6-pj/ticket-cp/buffaloes-cp/>

※その他詳細は、特設サイトをご確認ください。

< 報道関係者様からのお問い合わせ > パシフィックリーグマーケティング株式会社

✉ pr@plm-baseball.co.jp



パシフィックリーグマーケティング株式会社。パ・リーグ6球団の共同出資会社として2007年に設立。「6球団でまとまったらよいこと」「1球団ではできないこと」を考え方の軸として、ビジョンに「プロ野球界、スポーツ界の発展を通して、日本の社会全体を明るく元気にしていくこと」、ミッションに「プロ野球の新しいファンを増やすこと」を掲げ、社会におけるスポーツの新たな価値を提供できるよう、時代の環境変化に適応しながら、ビジョン・ミッションの実現のため事業を推進しています。

チケットプレゼントキャンペーン第2弾レポート

6月19日(日)にベルーナドームで行われた埼玉西武ライオンズ VS オリックス・バファローズ戦では、エッセンシャルワーカーの方でお子さんを持つご家族10組20名様を試合前のイベントにご招待し、グラウンドに出て親子でベースランニングという非日常体験をお楽しみいただきました。



今回は5月に特設ページより応募いただいた総勢3,352名の中から抽選で選ばれたファンの方50組100名様を球場にご招待しました。当日はパシフィックリーグマーケティングの公式衛生パートナーを務める日本MA-T工業会会員企業であるエーツーケア株式会社から「A2Careスキンクリーン」をはじめとするMA-T製品がストラックアウトやじゃんけん大会の景品としてプレゼントされました。詳しいレポートはこちら (<https://pacificleague.com/news/42971>)



「パ・リーグ6球団感動の輪を広げようプロジェクト」について

「パ・リーグ6球団感動の輪を広げようプロジェクト」は、パシフィックリーグマーケティングとMA-T工業会が協力しているスポーツ&エンタメの感動の輪を広げようプロジェクトが行う共同プロジェクトです。パシフィックリーグマーケティングとパ・リーグ6球団はファンの皆さまに対して、日常の楽しみの提供を、スポーツ&エンタメの感動の輪を広げようプロジェクトは、日本MA-T工業会とともに、パシフィックリーグマーケティングの公式衛生パートナーとして衛生対策のサポートを行ってまいります。本プロジェクトは、長らくコロナ禍で失われてしまった球場での感動や興奮、一体感を取り戻すために活動してまいります。